

| 会 議 記 録 | | | |
|----------------|---|---------------------|-----------------|
| 会 議 の 名 称 | 予 算 特 別 委 員 会 総 務 文 教 分 科 会 | 会 議 場 所 第 3 委 員 会 室 | |
| | | 担 当 職 員 山 内 | |
| 日 時 | 平 成 3 1 年 3 月 1 9 日 (火 曜 日) | 開 議 | 午 前 1 1 時 0 0 分 |
| | | 閉 議 | 午 前 1 1 時 3 3 分 |
| 出 席 委 員 | ◎ 福 井 ○ 木 村 三 上 浅 田 山 本 松 山 木 曾 石 野 | | |
| 理 事 者 出 席 者 | | | |
| 事 務 局 | 片 岡 事 務 局 長、山 内 事 務 局 次 長 | | |
| 傍 聴 者 | 市 民 0 名 | 報 道 関 係 者 0 名 | 議 員 0 名 |

会 議 の 概 要

1 1 : 0 0

【委員長報告確認】

(福井委員長 委員長報告朗読)

<木曾委員>

3 ページの一番上のところであるが、一番最後に「行政が主体性を持って事業実施すること」となっているが、「行政が主体性を持って事業内容を点検し、事業実施すること」という言葉をつけ加えていただければと思うが、少しくどいか。

<福井委員長>

くどいというのは、前にも出てくるからか。

<木曾委員>

そうである。または「行政が主体性を持って事業を点検し、実施すること」。どうしても「点検」を入れてほしい。

<木村副委員長>

木曾委員がこの間おっしゃったのは、お金の問題だったと思う。事業内容というより、事業の経費の問題を市の予算の中でやるとか、NPO法人に任せると法人負担を出したりするので、そういう考えをおっしゃっていたのではなかったか。

<木曾委員>

確かにそうであるが、市長が答弁で、「問題はあるようには思うが、今後、行政が主体性を持って事業実施したい」という意向を示された。そうなってくると、事業内容を点検しながらやらないとできない。言葉だけでなく、そこが大事だと思うので、「事業を点検し、実施すること」という言葉がいいと思う。

<福井委員長>

前を「事務事業評価で付した意見を再度確認し」とすれば、後に「点検」を入れてもおかしくない。

<事務局次長>

今、木曾委員から指摘いただいた点だが、「決算特別委員会において事務事業評価で付した意見を再度確認し、NPO法人とさらに協議の上、行政が主体性を持って事業を点検し、実施すること」でよろしいか。

<福井委員長>

そうさせていただきます。そのほかにあるか。

<山本委員>

賛成討論で、防災・減災対策にも予算を措置していただいていると言ったが、「しっかりと措置されて」の「しっかりと」というところは、他の言葉に変えてもらいたい。

<福井委員長>

山本委員としては、賛成討論で「しっかりと措置されている」とは言っていないということか。

<山本委員>

しっかりととは言っていない。防災・減災対策として入れていただいている予算にはなっているが、さらに備蓄品や改善していただきたい部分もある。

<事務局次長>

その部分は「しっかりと」というところを「一定措置されている」に修正してよろしいか。

<山本委員>

そうしていただきたい。

<福井委員長>

あとはどうか。私が気になったのは、移住・定住事業については、自由討議でも色々な意見が出たが、移住・定住促進経費として見た場合に、「離れ」にのうみを観光にすべきという指摘は、正直なところできない。あくまでも移住・定住事業である。そうすると、移住・定住事業の強化をすべきという意見も出ていた。実はそちらに乗らざるを得ないのではないかということがあり、このような書き方になった。ここで自由討議した内容は二つあった。もう一つのことになかなか書き切れないということがあるので、皆さんにそこだけ納得しておいてもらわないと、この文面では本当に自由討議をした内容になっていない。

<三上委員>

移住・定住促進事業としてやっているのだから、その目的に合った使い方をしなさいというのが本来である。まだ今1年目ということもあるので、観光に切りかえるということは次の話になるのではないか。この文面でいいと思う。

<松山委員>

これでいいと思う。本来の施設の設置目的の取り組み自体はされている。それをさらに強化する、もう一步踏み込むと、充実強化という言葉を入れたらどうか。

<福井委員長>

「充実」と入れようか。どちらかといえば「強化充実」か。

<三上委員>

「離れ」にのうみが移住・定住促進施設だというのであれば、もう少し移住・定住を呼びかけるようなものを置くなどすべきだろう。施設と連動した仕掛けがないから、何もしていないという思いである。稼働率や「離れ」にのうみの運営だけではなく、本来の目的になるような取り組みをすべきだという意味が込められていると思う。

<木曾委員>

「本来の施設の設置目的に沿った取り組みを強化すること」とあるが、その後に、それができないのなら見直すべきであるということも指摘の中に本当は含まれている。議論の中では、そうだったのではないかと思う。それがないので、委員長はもやもやしているのだと思う。ただ、それを書けない。

<福井委員長>

予算特別委員会の移住・定住事業としては、なかなか書きにくい。

<松山委員>

この文章で、委員会の中での委員の思いは詰まっていると思う。木曾委員が言ったように、この後に移住・定住ができていなければ今後の選択肢がもう一つ必要だというような文章を入れたほうが良いと思っている。しかし、委員会として、移住・定住促進施設として予算が出ている中で難しいところがある。

<福井委員長>

これでもう1年、見ることにするか。

<松山委員>

本来の施設設置目的に沿った取り組みの中で、「実績重視」という言葉をどこかに入れられたらと思う。少しくどいかもわからないが。

<福井委員長>

少し厳しいかもしれない。

<木村副委員長>

「離れ」にのうみが観光のことしかしていないので、移住・定住を求めるのであれば、例えば資料にしても、もともとの家がこうで、リフォームにこれだけかかった、亀岡にはこういう移住するところがあるという案内をしてほしいというような要望はできるのか。

<福井委員長>

通例は委員長報告に細かいことまでは書かないが、出せというのなら、考えたらいと思う。

<木村副委員長>

そういう意見をはっきり言っておかないと、このまま1年見ても、内容を行政がわかっているなければまた同じことではないか。稼働率を上げるという問題ではなく、移住・定住を促進する業務をせよというのであれば、具体的に言わないと、様子を見ていたら、多分、今年度も同じことになるのではないかと思う。

<福井委員長>

今の副委員長の意見はわからないではない。例えばこういうふうに委員会で自由討議があって、こういうことが決まりましたということを送付できるのか。

<事務局次長>

委員長報告とは別に送付するということについては、これまで委員会として総意が得られたら、色々な要望事項を理事者に送付した事例もあるので、それは可能かと思う。

<福井委員長>

今後、月例の常任委員会で行政報告をしてもらい、その中で質疑をして、指摘要望に対してどれだけ変わったかを諮っていくことはできるのではないか。

<木曾委員>

「本来の施設の設置目的に沿った取り組みになっていない現状を改善し、強化すること」ということで指摘要望をしたらどうか。

<三上委員>

最後は、本来の施設の目的に沿った取り組みを強化することで終わりたい。そのことをきちんとやっても、移住・定住希望者が泊まりに来ないというのであれば、考えなければいけないが、それがまだできていない状況である。「離れ」にのうみについては、現時点で観光としての利用しかなされていない状況であり、このままで

は観光のための施設と位置づけるしかないので、本来の施設目的に沿った取り組みを強化することを入りたい。

<木曾委員>

そのとおりだと思うが、委員長報告は余り長くはできないので、わかりやすくコンパクトに指摘することが大事だと思う。その辺でまとめたらどうか。

<福井委員長>

この移住・定住促進施設の件については、当委員会ではほぼ共通認識はできたと思っている。そういう意味で、スタートして半年ということもあり、「本来の施設の設置目的に沿った取り組みになっていない現状を改善し、強化すること」で出したいと思うがどうか。

(異議なし)

<福井委員長>

また今後、これについても、ほかのことについても、委員会としては月例の委員会があるし、次はテーマを決めていきたいと思っているので、また考慮いただいて御意見を賜っていただけると思う。ありがとう。

<事務局次長>

今の文面だが、「移住・定住促進施設「離れ」にのうみについて、本来の施設の設置目的に沿った取り組みがされていない現状を改善し」の後、「その取り組みを強化充実すること」でよろしいか。若干の微妙な言い回しはあるにしても、そういった趣旨でまとめさせていただきたい。

もう1点、その前の事務事業評価の付した意見のところであるが、「事務事業評価で付した意見を再度確認し」と言われたが、「し」「し」になるので、「確認する中で」に変えさせていただきたいと思う。

<福井委員長>

それをお願いします。

<木曾委員>

最後の「強化」が難しければ、「取り組みになっていない現状を改善し、推進する」にしたほうがいいかもしれない。強化するより、推進する、前に進めるというほうがいいのではないか。

<三上委員>

取り組み自体そうっていないというのものもあるが、「離れ」にのうみとして見た場合は、取り組みというより、本来の施設の設置目的に沿った利用になっていない。

「利用になっていない現状を改善するために取り組みを強化する」。「取り組みを強化する」を後ろへ持ってきたらどうか。「本来の施設の設置目的に沿った利用になっていない現状を改善し、取り組みを強化する」。

<福井委員長>

そう言ってしまうと、今度は採算がとれない。観光面も残しておかないと、施設自体のペイができない。最初から、毎年三百何十万円の赤字を見込んでいる中で、移住・定住に特化せよと変えてしまうと、それはできない。ここは書き方が非常に微妙である。

<三上委員>

そうすると、この原文のままでもいいか。

<福井委員長>

色々と意見をもらい、一緒に考えていただきお礼を申し上げる。この形で報告させていただく。

